

東濃西部地域における代表的な取り組み

1. 水道管の老朽化対策（大容量送水管）

- 緊急時に対応するための貯留機能を合わせ持つ水道管を整備しています。
- 今年度より、第2期分を本格的に工事着手しています。

【第1期】平成25年度～令和3年度 約138億円

【第2期】令和4年度～令和14年度 約170億円



推進工事（瑞浪市内）



開削工事（土岐市内）

2. 水道タンクの老朽化対策

- 老朽化した水道タンクの内外面を適切に補修して、予防保全することで、施設の長寿命化を図っています。

【整備期間】令和元年度～令和2年度

【事業費】約0.8億円（釜戸減圧槽1池）



水道タンク外面補修状況（瑞浪市内）



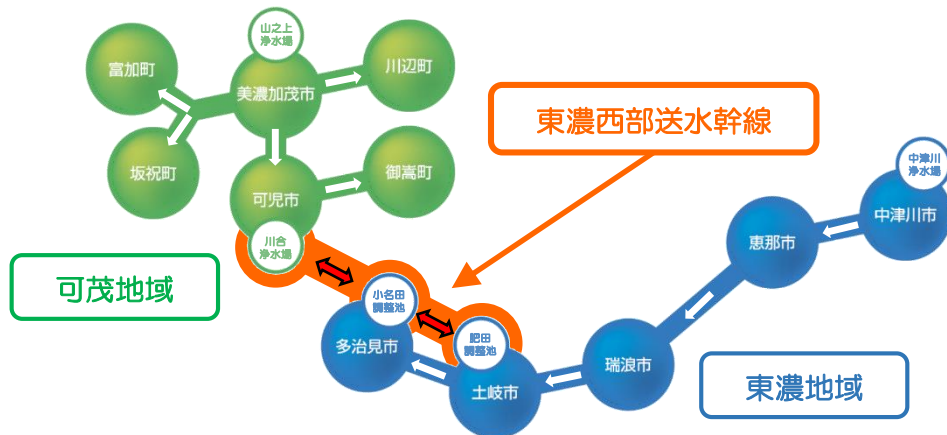
水道タンク内面補修状況（瑞浪市内）

3. 緊急時の安定供給（東濃西部送水幹線）

- 災害や事故が発生した場合にも、水道水を継続的に供給できるよう、東濃地域と可茂地域の両地域間を結ぶ水道管を整備しました。

【整備期間】平成16年度～平成24年度

【事業費】約80億円



可茂地域

東濃地域

- ポンプ場をリモートで制御できるように改良することで、より早く、両地域間の融通ができるようになりました。

【整備期間】令和元年度～令和2年度

【事業費】約1.2億円



小名田調整・配水池
（多治見市内）



ポンプ場のリモート制御化
（土岐市内）

その他、水道水の安定供給のため、施設の更新や修繕を計画的に実施しています。